

## 5・5 輸出入・港湾諸手続の簡素化

### 5・5・1 貿易関連手続きの一層の円滑化

輸出入・港湾関連情報処理センター（通称：NACCSセンター）は、同社において管理・運営している NACCS (Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System) について、2025 年 10 月を目途にシステム更改を実施すべく、2019 年 8 月に当協会代表を始めとする専門部会を立ち上げるとともにその下に WG を置き検討を続けている。

2022 年度は「更改専門部会」（第 5 回／2023 年 2 月 2 日）と「輸出入通関・航空保税貨物・海上保税貨物（合同）作業部会（WG／第 11～20 回の計 10 回）」が開催され、オーシャンネットワークエクスプレスジャパン（ONEJ）と大手 3 社関係会社の担当者に対応いただいた。

これらに加えて 2023 年度においても 2023 年 6 月 14 日（第 22 回）までに WG が開催されているが、以降の会合日程については未定とされている。

### 5・5・2 港湾の電子化（サイバーポート／Cyber Port）の推進

国交省港湾局および内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室は、港湾の完全電子化・港湾に関する行政手続や調査・統計業務の効率化を図る情報システムの構築に向けて、「港湾の電子化（サイバーポート）推進委員会」を設置しており、当協会からは港湾委員長（常勤副会長）が参画している。また、港湾局は別途「サイバーポート進捗管理 WG（港湾物流分野）」を設置しており、2022 年 6 月 10 日に第 1 回会合が、翌 2023 年 5 月 8 日に第 2 回会合が以下の議事内容で開催されたことから、当協会から北村幸一物流システム幹事会アドバイザー（オーシャンネットワークエクスプレスジャパン／ONEJ 執行役員）に対応いただいた。（※当該「推進委員会」および「WG」改組の経緯については『船協海運年報 2021』『5・5・2 港湾の電子化（サイバーポート）の推進』参照。）

#### 【第 1 回 サイバーポート進捗管理 WG（港湾管理分野）】

○日時：令和 4（2022）年 6 月 15 日

○議事：

- （1）サイバーポート（港湾管理分野）の概要
- （2）サイバーポート（港湾管理分野）の設計状況について
- （3）サイバーポート（港湾管理分野）の実証について
- （4）今後の進め方について

#### 【第 2 回 サイバーポート進捗管理 WG（港湾管理分野）】

○日時：令和 5（2023）年 5 月 8 日

○議事：

- （1）サイバーポート（港湾管理分野）の取組概要
- （2）令和 4 年度実証結果及び今後の検討事項

- ①NACCS 機能改善
- ②サイバーポート（調査・統計）
- (3) サイバーポート（手続）の検討状況
- (4) 今後のスケジュール・情報共有

<サイバーポート／港湾局 Web ページ>

[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_00002.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_00002.html)

<サイバーポート WG（港湾管理分野）開催状況>

[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_fr5\\_000073.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000073.html)

なお、本件に関連して、港湾局よりサイバーポートと「NACCS」のシステム間直接連携機能を令和5（2023）年3月13日に運用開始する旨のプレスリリースが行われている。

<「Cyber Port」と「NACCS」のシステム間直接連携機能を令和5年3月13日に運用開始>

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port05\\_hh\\_000229.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port05_hh_000229.html)

### 5・5・3 財務省関税局との意見交換

当協会と財務省関税局は、令和2（2020）年度より、関税局と3社港湾物流幹事・物流システム幹事会アドバイザー（ONEJ）・船協事務局による意見交換を開催しており、海運事業者より、税関手続きや時事的な問題についての事業実態を説明するとともに、必要に応じて手続きに係る業務改善等を要望している。

令和4（2022）年度も以下の要領で第5回・第6回の計2度の意見交換会を開催するとともに、第6回会合の際に提出された船社側から関税局への要望事項についてのフォローアップを行うべく、追加会議（第7回会合）を開催した。

#### 【2022年6月7日 第5回意見交換会】

1. 一括搬入制度の見直し
2. 輸出入に係るロシア制裁
3. その他（上海のロックダウンや米国西岸の労使交渉などの国際物流に係る意見交換）

#### 【2023年2月1日 第6回意見交換会】

1. スマート税関の実現に向けたアクションプラン 2022
2. 現在の物流の動向変化をふまえた制度の要望
3. 危険物明細書について
4. その他（G7サミットに向けた監視・取締体制の強化等）

#### 【2023年6月29日 第7回意見交換会（追加会合）】

1. 前回会合（同2/1）における船協からの要望事項への回答説明
2. その他（NACCSによる電子申請の周知や港湾局にて対応中のサイバーポート等）

また、これらの意見交換に加えて、関税局では必要に応じてONEJ担当者と都度連絡・相談を行っているところ、昨今の貿易手続デジタル化の動きを踏まえ、大手民間プラットフォームについてユーザー側の視点も理解しておきたいとの趣旨にて「トレードレンズ(TradeLens)」に係る事業者へのヒアリングが行われ(2022年11月21日/ONEJ会議室)、当協会事務局も同席した。(※ トレードレンズについては、2023年の第1四半期の終わりまでにプラットフォームはオフラインになる旨にてプロジェクトの終了決定が2022年11月29日に公表されている。)

以上